

6学生を取り戻そう!

2016年3月8日

No.368

Tel 03-3651-4861

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

7月選挙決選の勝利に向けて②

全学連書記長・坂野陽平

【1】

「京大反戦スト弾圧」の報を聞き全国の労働者・仲間たちが奮い立っています。

7月選挙決選は斎藤委員長をはじめとする6学生の奪還なくしては成り立ちません。奪還にむけ総力あげよう。

【2】

今回の弾圧は、安倍政権の意志そのものです。

いかなる情勢の中で安倍は弾圧へと踏み切ったか。

世界大恐慌は解決不能になっています。資本主義の世界的な危機の中で安倍は改憲・戦争を決断している(3月2日の予算委員会で「私の在任中に改憲をする」と公言)。

3月7日から朝鮮半島での米韓合同軍事演習が始まっています。軍事的圧力と経済制裁の中で北朝鮮は暴発しかねない。辺野古基地建設の「中断」は朝鮮侵略戦争の出撃基地としての沖縄を取り込まない限り戦争ができないという安倍の意志を表しています。さらにこの間伊勢志摩サミットにむけて常



全国学生も駆けつけ、京大で連日6名奪還の街宣やっています

軌を逸した弾圧がいくつも起きている。

まさに戦争への道そのものとして今回の弾圧が行われています。

【3】

今回の弾圧はまぎれもなく全学連の壊滅を狙ったものです。

同学会主催のバリストにも関わらず、同学会で逮捕されたのは委員長だけ。あとはすべて全学連の指導的な立場にある仲間です。東北大の仲間に対する弾圧は「次なるストライキは東北大だ」という恐怖が背景にあります。

11月18日の現場検証と告訴から4ヶ月が経過してから逮捕が行われています。この過程で警視庁公安部が先頭になって逮捕者の選別を行ったということです。

京大当局は安倍の先兵として世界戦争に協力することを宣言したに等しい。

京大史上初めての学生の刑事告訴は「副学長連絡会」の廃



6学生を刑事告訴した京大当局を徹底追及(3/4)

変える力はここにある! 私たちが歴史を動かす!

3.11反原発福島行動'16

〈日時〉 3月11日(金) 13時~ ※12時開場 ※15時デモ出発

〈場所〉 郡山市 開成山・野外音楽堂

〈呼びかけ〉 3・11反原発福島行動実行委員会

〈メール〉 3.11fukushimaaction@gmail.com



止、吉田寮の入寮募集停止をはじめとする学生自治破壊のエスカレーションと一体です。京大はついに法大への道を歩み始めたということです。

3月3日に開催された全国学生総決起集会の場で、熊野寮生は口々に家宅捜索への怒りを語っています。家宅捜索の度、機動隊が200人規模で導入され、寮全体が5時間にわたって制圧され、全寮生が事実上拘束される。ある仲間は「何故ストライキで逮捕されるのか」と涙をこらえ、声を震わせながら怒りを表明しました。

熊野寮への家宅捜索は京大当局お墨付きを与えていることによって成立しています。今こそ熊野寮の仲間と血の通った、分かちがたい団結をつくりあげるときです。熊野寮への差し入れも全国からどんどん募っていきましょう。

【4】

改めて京大反戦バリストの意義をとらえ返したい。

戦争法制定に対し国会前と日本全土で100万-1000万の人々が決起しました。京大反戦ストは次の闘いの進路を指し示すものでした。

そもそも戦争法制定に対して何故全国の大学人はストライキの一つ呼びかけなかったのか。

大学がかつての戦争への痛切な反省を忘れることは決して許されません。とりわけ京大は1933年滝川事件という歴史をもっている。

滝川事件に対し一旦はこれに抗議する大闘争が起きます。

京大の法学部教授全員が辞表を提出、総長は辞任する。京大生は学生大会を開き抗議。東大生や東北大生なども反対運動を展開します。

しかし結局は京大を含めた全国の大学人が屈服することにより、学徒出陣-戦争の道が始まります。

現在米軍から5000万円の資金供与を受けるなど、京大の軍事研究は全国の大学の中でも突出しています。

本当に戦争を止めるという立場に立つ時、バリケード・ストライ



京都市内でも連日街宣!

キ以外手段はなかったということを改めてはっきりさせたい。

法大を見ればわかるように、現在大学キャンパスでの政治的自由は封殺されています。クラス討論が「授業妨害」とされるのです。教授の都合で休講はあるが、学生が政治的討議をすることはみとめられない。この中で京大バリストは「大学の主人公は学生だ」ということを突きつけるものでした。元最高裁判事・伊藤正巳は自身が著した憲法の教科書の中で、「大学の自治には学生の自治が含まれる」こと、そしてそれは70年安保・大学闘争の影響によるものと述べています。

日本の改憲・戦争を阻んできた70年安保の巨大な地平。今日に至るまで支配階級に立ち直れない打撃を与えたのは、全国大学で闘われたバリスト、そして東大安田決戦などで入試も含めて破壊しつくしたことによるものです。

「営業権」を語り、授業を「業務」と行ってはばからない現在の大学。このようなあり方は丸ごと否定されなければなりません。

法も大学自治もすべて投げ捨てた京大。そこには致命的弱点があります。弾圧は絶対に粉碎できます。

6人は完黙で元気に闘いぬき、全国大学からかけつけた2桁の仲間がすでに京都を席卷しています。

【5】

京大と連帯する階級的労働運動の発展、動労総連合建設が求められています。この激闘と一体化する中でこそ動労総連合をつくりあげることができる。



全国での6同志奪還署名が春闘にむけての起爆剤になろうとしています。

「新しい労働者の党をつくる」とは一体どんなことか。弾圧粉碎闘争の過程で示していきましょう。街頭では公安摘発事件や熊野寮への家宅捜索をみんな知っています。この弾圧を打ち破った時、必ずや巨大な地平が切り開かれます。弾圧粉碎を糧にいざ7月選挙へ!!

【当面する行動方針】

●全学連6名奪還! 3/13京都デモ

3月13日(日) 12時 三条河原集合集合 13時 デモ出発
デモコース 三条河原→四条通り→八坂神社

●武田雄飛丸君「無期停学」処分撤回裁判控訴審・判決

3月16日(水) 15時半~ 東京高裁822号法廷にて

●“市東さんの農地死守!” 3・27三里塚全国総決起集会

3月27日(日) 正午~ 成田市・赤坂公園(成田市赤坂1丁目)にて 主催: 三里塚芝山連合空港反対同盟



6学生を取り戻そう!

2016年3月8日

No.368

Tel 03-3651-4861

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

7月選挙決戦の勝利に向けて②

全学連書記長・坂野陽平

【1】

「京大反戦スト弾圧」の報を聞き全国の労働者・仲間たちが奮い立っています。

7月選挙決戦は斎藤委員長をはじめとする6学生の奪還なくしては成り立ちません。奪還にむけ総力あげよう。

【2】

今回の弾圧は、安倍政権の意志そのものです。

いかなる情勢の中で安倍は弾圧へと踏み切ったか。

世界大恐慌は解決不能になっています。資本主義の世界的な危機の中で安倍は改憲・戦争を決断している(3月2日の予算委員会で「私の在任中に改憲をする」と公言)。

3月7日から朝鮮半島での米韓合同軍事演習が始まっています。軍事的圧力と経済制裁の中で北朝鮮は暴発しかねない。辺野古基地建設の「中断」は朝鮮侵略戦争の出撃基地としての沖縄を取り込まない限り戦争ができないという安倍の意志を表しています。さらにこの間伊勢志摩サミットにむけて常



全国学生も駆けつけ、京大で連日6名奪還の街宣やっています

軌を逸した弾圧がいくつも起きている。

まさに戦争への道そのものとして今回の弾圧が行われています。

【3】

今回の弾圧はまぎれもなく全学連の壊滅を狙ったものです。

同学会主催のバリストにも関わらず、同学会で逮捕されたのは委員長だけ。あとはすべて全学連の指導的な立場にある仲間です。東北大の仲間に対する弾圧は「次なるストライキは東北大だ」という恐怖が背景にあります。

11月18日の現場検証と告訴から4ヶ月が経過してから逮捕が行われています。この過程で警視庁公安部が先頭になって逮捕者の選別を行ったということです。

京大当局は安倍の先兵として世界戦争に協力することを宣言したに等しい。

京大史上初めての学生の刑事告訴は「副学長連絡会」の廃



6学生を刑事告訴した京大当局を徹底追及(3/4)

変える力はここにある! 私たちが歴史を動かす!

3.11反原発福島行動'16

〈日時〉 3月11日(金) 13時~ ※12時開場 ※15時デモ出発

〈場所〉 郡山市 開成山・野外音楽堂

〈呼びかけ〉 3・11反原発福島行動実行委員会

〈メール〉 3.11fukushimaaction@gmail.com



止、吉田寮の入寮募集停止をはじめとする学生自治破壊のエスカレーションと一体です。京大はついに法大への道を歩み始めたということです。

3月3日に開催された全国学生総決起集会の場で、熊野寮生は口々に家宅捜索への怒りを語っています。家宅捜索の度、機動隊が200人規模で導入され、寮全体が5時間にわたって制圧され、全寮生が事実上拘束される。ある仲間は「何故ストライキで逮捕されるのか」と涙をこらえ、声を震わせながら怒りを表明しました。

熊野寮への家宅捜索は京大当局お墨付きを与えていることによって成立しています。今こそ熊野寮の仲間と血の通った、分かちがたい団結をつくりあげるときです。熊野寮への差し入れも全国からどんどん募っていこう。

【4】

改めて京大反戦バリストの意義をとらえ返したい。

戦争法制定に対し国会前と日本全土で100万-1000万の人々が決起しました。京大反戦ストは次の闘いの進路を指し示すものでした。

そもそも戦争法制定に対して何故全国の大学人はストライキの一つ呼びかけなかったのか。

大学がかつての戦争への痛切な反省を忘れることは決して許されません。とりわけ京大は1933年滝川事件という歴史をもっている。

滝川事件に対し一旦はこれに抗議する大闘争が起きます。

京大の法学部教授全員が辞表を提出、総長は辞任する。京大生は学生大会を開き抗議。東大生や東北大生なども反対運動を展開します。

しかし結局は京大を含めた全国の大学人が屈服することにより、学徒出陣-戦争の道が始まります。

現在米軍から5000万円の資金供与を受けるなど、京大の軍事研究は全国の大学の中でも突出しています。

本当に戦争を止めるという立場に立つ時、バリケード・ストライ



京都市内でも連日街宣!

キ以外手段はなかったということを改めてはっきりさせたい。

法大を見ればわかるように、現在大学キャンパスでの政治的自由は封殺されています。クラス討論が「授業妨害」とされるのです。教授の都合で休講はあるが、学生が政治的討議をすることはみとめられない。この中で京大バリストは「大学の主人公は学生だ」ということを突きつけるものでした。元最高裁判事・伊藤正巳は自身が著した憲法の教科書の中で、「大学の自治には学生の自治が含まれる」こと、そしてそれは70年安保・大学闘争の影響によるものと述べています。

日本の改憲・戦争を阻んできた70年安保の巨大な地平。今日に至るまで支配階級に立ち直れない打撃を与えたのは、全国大学で闘われたバリスト、そして東大安田決戦などで入試も含めて破壊しつくしたことによるものです。

「営業権」を語り、授業を「業務」と行ってはばからない現在の大学。このようなあり方は丸ごと否定されなければなりません。

法も大学自治もすべて投げ捨てた京大。そこには致命的弱点があります。弾圧は絶対に粉碎できます。

6人は完黙で元気に闘いぬき、全国大学からかけつけた2桁の仲間がすでに京都を席卷しています。

【5】

京大と連帯する階級的労働運動の発展、動労総連合建設が求められています。この激闘と一体化する中でこそ動労総連合をつくりあげることができる。



全国での6同志奪還署名が春闘にむけての起爆剤になろうとしています。

「新しい労働者の党をつくる」とは一体どんなことか。弾圧粉碎闘争の過程で示していきましょう。街頭では公安摘発事件や熊野寮への家宅捜索をみんな知っています。この弾圧を打ち破った時、必ずや巨大な地平が切り開かれます。弾圧粉碎を糧にいざ7月選挙へ!!

【当面する行動方針】

●全学連6名奪還! 3/13京都デモ

3月13日(日) 12時 三条河原集合集合 13時 デモ出発
デモコース 三条河原→四条通り→八坂神社

●武田雄飛丸君「無期停学」処分撤回裁判控訴審・判決

3月16日(水) 15時半~ 東京高裁822号法廷にて

●“市東さんの農地死守!” 3・27三里塚全国総決起集会

3月27日(日) 正午~ 成田市・赤坂公園(成田市赤坂1丁目)にて 主催: 三里塚芝山連合空港反対同盟

